

おおさか掲示板

平成28年熊本地震の被災地を支援しています

熊本地方を中心とする地震により各地が甚大な被害を受けています。大阪市は、地震発生直後から災害等支援対策室を設置し、情報収集に努めるとともに被災地からの要請により人的・物的支援を積極的に行っています。

市民の皆さんからの温かいご支援をお願いします。

これまでの対応状況

(5月12日時点)

●人的支援 (今後の予定含む)

| | |
|------------------------|------|
| 緊急消防援助隊 | 195人 |
| 健康相談・衛生対策 | 26人 |
| 災害医療(DMAT) | 11人 |
| 応急給水など | 42人 |
| 下水道調査など | 29人 |
| 被災建築物応急危険度判定士 | 4人 |
| 廃棄物処理、ごみの撤去 および搬送など | 55人 |
| 避難所での運営支援 | 102人 |
| 家屋調査業務 | 29人 |
| り災証明書受付業務 | 20人 |

●物的支援

| | |
|----------------|----------|
| 飲料水(500ミリリットル) | 約9万本 |
| アルファ化米(米飯保存食)等 | 約1万食 |
| 粉ミルク(300グラム入) | 約250缶 |
| 毛布 | 約3万枚 |
| ブルーシート | 約5000枚 |
| トイレトーパー | 約8000ロール |

募金を受け付けています

大阪市では、市民の皆さんからお預かりした募金について、日本赤十字社等を通じて被災された方々にお届けします。受付場所は、市役所1階南側玄関受付、各区役所、地下鉄14駅、博物館およびスポーツ施設などの本市関連施設です(受け付けの曜日・時間・領収証の発行は施設等により異なりますので、詳しくはホームページをご確認ください)。

災害ボランティアについて

被災地では多くの方々ボランティアとして参加していただいています。ボランティア活動の受入れ状況などは地元自治体により異なりますので、詳しくは、全国社会福祉協議会の熊本地震特設サイトなどをご確認ください。

●現地派遣レポート(緊急消防援助隊)

余震が続く中、崩落現場での捜索活動や安否確認、避難所での救急活動を実施しました。現地では余震が続き、外出時は常に危険と隣り合わせの状態でした。ヘルメットや手袋など防災用品の備えが、震災時の円滑な避難や、その後の生活に役立ちます。日ごろから備えておきましょう。



<救助作業の様子>

●現地派遣レポート(保健師)

避難所の衛生状態を改善し、感染症の発生を予防するとともに、被災者の健康相談に従事しました。特に、避難所におけるエコノミークラス症候群予防として、避難所や車内で生活している方を中心に啓発に努めました。災害発生時でも、こまめな水分補給と適度な運動を心掛けましょう。



<健康相談の準備>